

日本初、ISO15189:2012 生理学的検査含む認定を取得



京大病院では、2014年3月26日付けで、全国の病院に先駆けて、国際規格の ISO15189:2012（臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項）の認定（新規取得）を受けました。さらに、2015年5月27日付けで、日本初となる生理学的検査について認定を受けました。

検査部、病理部、輸血細胞治療部、薬剤部（TDM 室）の4部門で、国際標準化機構（ISO）の認定機関である日本適合性認定協会（JAB）から ISO15189:2012 の認定を取得しました。6月25日には、本院中央診療棟2階検査部会議室で認定証の授与式が行われました。

ISO15189 は、2003年2月に臨床検査室に特化した国際規格として制定されたもので、「品質マネジメントシステムの要求事項」と「臨床検査室が請け負う臨床検査の種類に応じた技術能力に関する要求事項」の2つから構成されています。

ISO15189:2012 は、最新バージョン（第3版）の規格であり、本院は日本初となる生理学的検査を含むすべての範囲の認定を受けました（特定プログラム I を除く）。